R2.12 作成

[那賀町]

新たな森林の管理をベースとした林業経営体「那賀モデル」を創出

（木頭開発（株），（株）アイエフ）

背景・課題

平成31年施行の「森林経営管理法」に基づき，意欲ある林業経営体に森林の経営・管理を委託できる「新たな経営管理システム」が始まる中，手つかずの奥山林の多い那賀町における「那賀モデル」の構築が必要である。

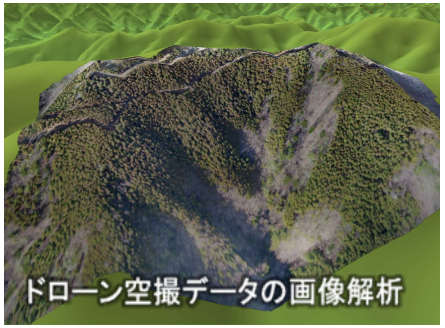
補助内容

◆対象期間：平成30年度～令和2年度
◆補助対象：（平成30年度）グラップル，フォワーダ等，（令和元年度）グラップル，ドローン，解析ソフト等，
（令和２年度）ケーブルグラップル，ドローンを活用した「那賀モデル」の現地実証経費
◆補助金額：（平成30年度）1,002万円，（令和元年度）585万円，（令和２年度）104万円(予定)

主な取組

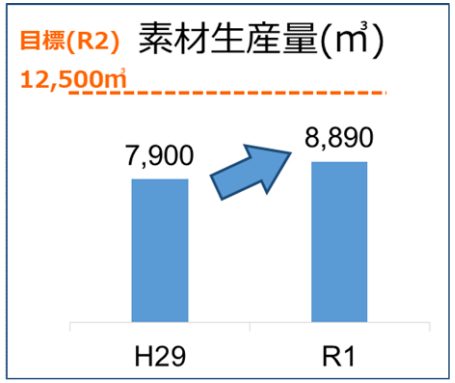
◆奥山林に適応したケーブルグラップルの開発，グラップル，フォワーダ等の高性能林業機械の活用により，伐採木の集荷・運搬作業を省力化。

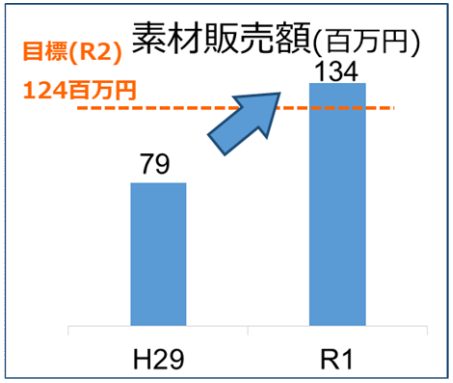
◆ドローンの空撮画像解析により，森林資源調査の省力化を図り，伐採から植栽までの効率的な計画作成モデルの構築を推進。



主な成果目標の達成状況

◆高性能林業機械や林業のスマート化モデルの実証を進めることで、素材生産量・販売額は順調に増加。





今後の取り組み

◆高性能林業機械やドローン等のスマート化技術を活用した「那賀モデル」の普及・推進に取り組む。